思いを紡ぐ　優しいあおば

あおば支援学校　学校だより【第３１号】　令和５年５月

『令和5年度がスタートしました』

校長 藤岡（ふじおか） 歩（あゆみ）

今年度がスタートして早一月が過ぎました。児童・生徒も新しいクラス、新しい担任に少しずつ慣れ、徐々に生活リズムを身に付けてきています。ゴールデンウィークを過ぎれば、学校活動も本格的に始動していきます。教職員協力して、児童・生徒の教育活動に取り組んで参りますので、ご家庭、地域からのご支援お願いいたします。

さて、あおば支援学校は今年で開校４年目を迎えました。新入生は、小学部Ａ部門２名、Ｂ部門 15 名の計 17 名、中学部はＡ部門２名、Ｂ部門４名の計６名、高等部Ａ部門１名、Ｂ部門 33 名の計 34 名、学校全体で 57 名です。また、他校から、小学部Ａ部門２年に１名　Ｂ部門４年に１名転校してきました。昨年度より、23 名増え、学校全体で、212 名になりました。また、教職員も増え、非常勤職員を入れると約 170 名となります。

新たな仲間をあおばに迎え、４月５日に１学期始業式、４月６日に第４回小・中学部、高等部入学式を挙行することができました。新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。そして、保護者の皆さま、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。また、在校生の皆さん、進級おめでとうございます。

入学式には、在校生、保護者の皆様のご参列をいただくとともに、来賓の皆様、学校運営協議会委員の皆様、あおばの会会長にも、ご臨席していただきました。さらに、地域、関係者の皆様からも、お祝いのお言葉をたくさんいただきました。皆様それぞれの場所から、精一杯、皆さんの入学をお祝いし、歓迎していただいていることを感じました。心から感謝申し上げます。

いよいよ５月８日から新型コロナウィルスが５類となることに伴い、学校では安全、安心を意識しながらも、コロナ以前に行っていた学習活動を順次再開していきます。開校とともに緊急事態宣言に見舞われ、臨時休校を余儀なくされた本校にとっては、給食の配膳や歯磨き指導等初めて行う学習活動も多く、学部の実態を踏まえながら、少しずつ取り組んでいきたいと考えています。

校歌「学び舎あおば」に、「あおばで育つ豊かな心　優しさの輪を広げよう　友と開こう未来の扉　勇気と希望を胸に秘め　一人ひとり違う　愛しい命　はばたけ大空へ　どこまでも」という歌詞があります。このあおば支援学校で、しっかり学び、元気に、楽しく、そして、光り輝く子どもたちの未来を友と開き、一日一日充実した物語を、一緒に紡いでいきましょう。